

暑い夏でも花もちキープ！ 切り花の輸送技術

概要 Abstract

- ① マトリカリアとブプレウルムの高温期の出荷では簡易湿式輸送が品質保持に有効です。
- ② スカビオサは輸送温度を5℃にすると湿式輸送より省力的な簡易湿式輸送が可能です。
- ③ ひまわりは5℃以下、なでしこは15℃以下の乾式輸送で品質を保持できます。



夏に多く出荷される5種類の切り花

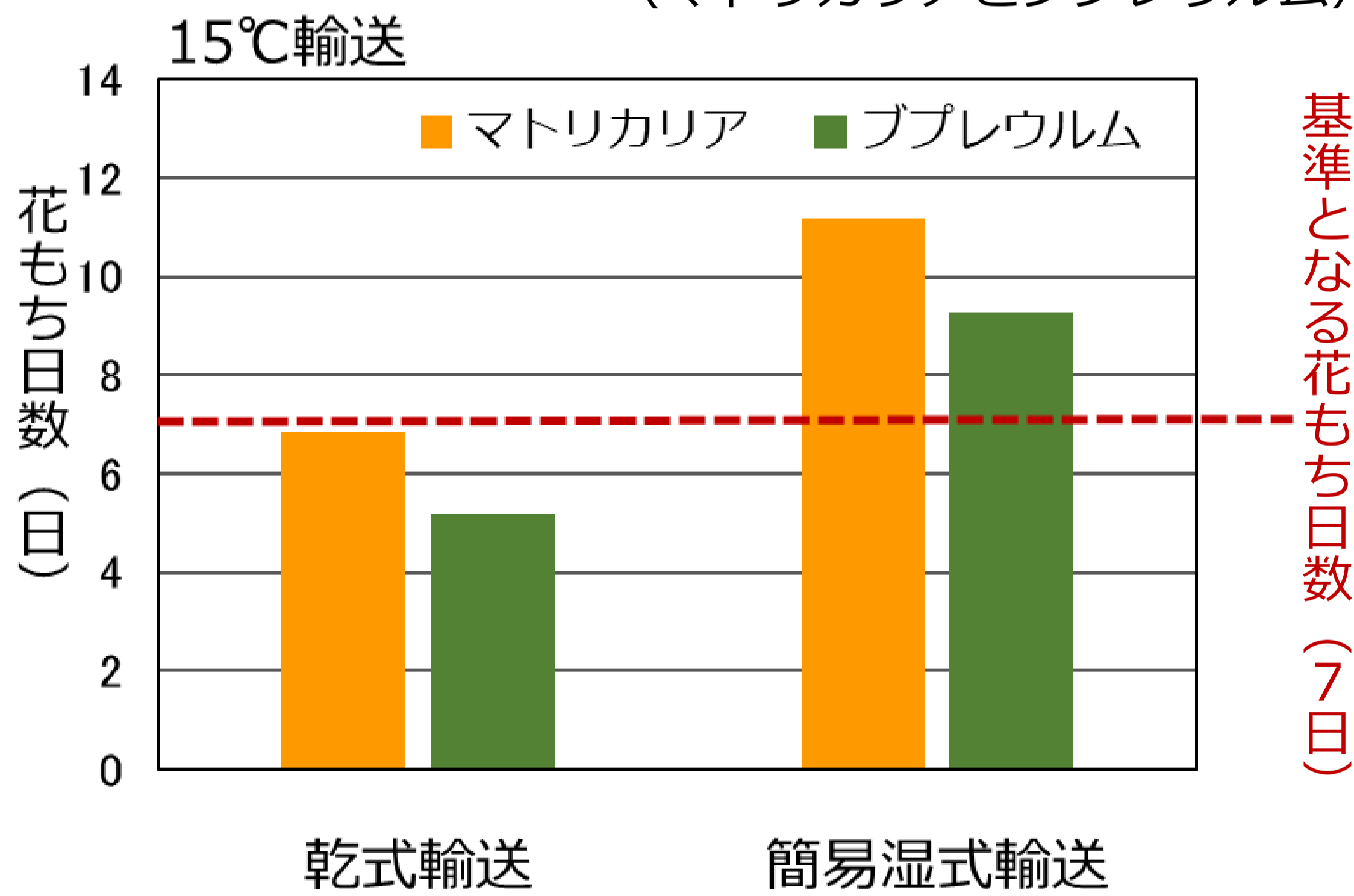
用語説明

乾式輸送：段ボール箱に束ねた切り花を入れて運ぶ一般的な輸送方法
 湿式輸送：水に生けた状態で縦型の箱で輸送する。品質保持効果は高いが、輸送の効率は低い。
 簡易湿式輸送：切り花にゼリー状の給水材を装着して輸送する。湿式輸送より効率よく、乾式輸送より品質保持効果が期待できる。

成果 Results

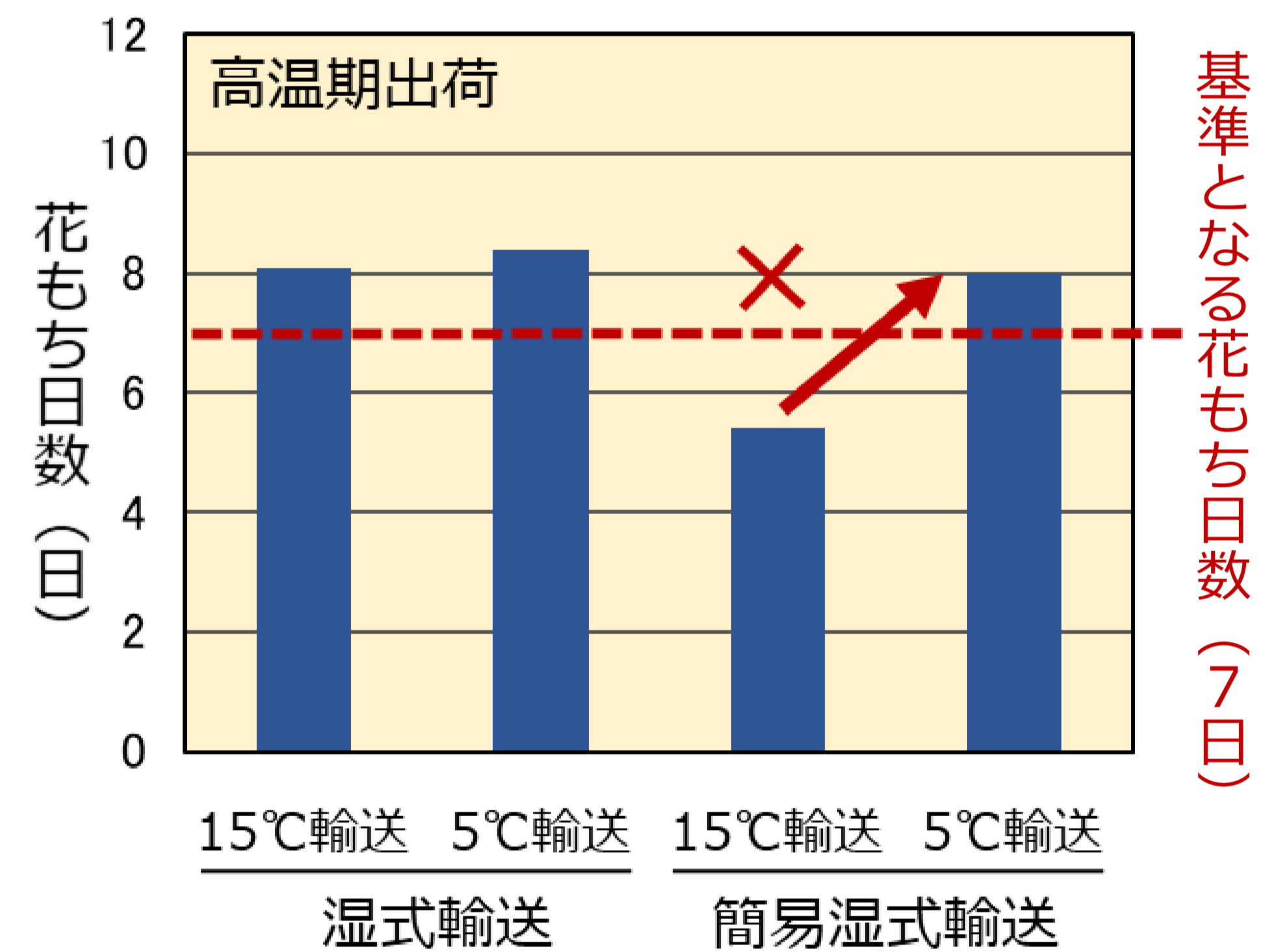
① 高温期は簡易湿式輸送が有効

(マトリカリアとブプレウルム)



② スカビオサは5℃輸送

(簡易湿式輸送の場合)



切り花の輸送技術と高温期の対応

品目	一般的な輸送技術		高温期出荷での輸送技術	
	輸送方法	輸送温度	輸送方法	輸送温度
マトリカリア	乾式または簡易湿式	15℃以下	簡易湿式	15℃以下
ブプレウルム	乾式または簡易湿式	15℃以下	簡易湿式	15℃以下
スカビオサ	湿式または簡易湿式	15℃以下	湿式 簡易湿式	15℃以下 5℃
ひまわり	乾式	5℃以下	乾式	5℃以下
なでしこ	乾式	15℃以下	乾式	15℃以下



高温期は萎れやすい！

普及 Dissemination

- ・高温期に発生する品質低下への対応策として活用する。
- ・この技術は48時間以内の輸送を想定している。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター 研究部 花き野菜グループ
 0125-28-2800
 hanayasai-agri@hro.or.jp